

民生委員から花見だんごを受け取る堀井さん



花見だんごに笑顔こぼれる
3月22日 高齢者への花見だんごの配布

一人暮らし高齢者の安否訪問事業の一環として、花見だんごの配布が行われました。今年は1,583人の高齢者に、各地区の民生委員が花見だんごを配りました。民生委員から花見だんごを受け取った堀井千歳さん(88歳)は、「一人暮らしの身として、こうやって訪ねてきてくれるのは、本当にうれしい。わざわざありがとうございます」とお礼の言葉を述べました。

浜辺でゴミを拾う敦賀高校生徒



きれいな松原のために
3月14日 敦賀高校松原清掃

敦賀高校の1・2年生や教職員が、気比の松原で清掃活動を行いました。この活動は生徒たちに環境問題についての意識を持ってもらおうと、敦賀高校の保健委員会などを中心に毎年行われているもので、今年は約670人が参加。生徒たちはクラスごとに清掃場所を分担し、砂浜に落ちているペットボトルキャップなどのごみや、松の枝などを拾い集めていました。

社殿に向かう一行



水ごりをするゴクカキ



街角スケッチ

あなたが写っていたらご連絡ください。
写真を差し上げます。
広報広聴課 ☎22-8112

ゴクカキとともに豊穰祈願
3月13日 初午祭り

市の民俗文化財である「初午祭り」が山区の稲荷神社で行われました。この祭りは、村を荒らしていた「ヒビ」に人身御供を捧げようとしたところ、通りかかった武芸者が「ヒビ」を退治し村を救ったという伝承に由来しているといわれています。早朝の6時30分頃、まず初めにゴクカキと呼ばれる男衆8人が、水ごり場で身を清めました。その後、ゴクカキは、人身御供役の佐々木美羽ちゃん(7歳)を囲んで神社の鳥居から本殿に向かい、神事を行って五穀豊穰と無病息災を祈願しました。その後、ゴクカキによりもち米と豆を蒸した「赤蒸し」と呼ばれるお供えものが区民に配られました。

市長から激励費が手渡されました



(左から) 仲谷(沙)さん、木下さん、望月さん、仲谷(美)さん

目指せ! かるた日本一
3月25日 全国かるた大会出場者激励会

第41回全国小中学生かるた選手権大会に出場する児童の激励会が、市役所で行われました。出場するのは、仲谷美咲さん(栗野小6年)・沙都さん(3年)姉妹、木下絢加さん(中郷小4年)、望月伶香さん(中央小6年)。河瀬市長から激励費が手渡され、4人は「練習の成果が出せるようがんばります」と健闘を誓いました。(大会は3月27日に滋賀県で開催され、木下さんと仲谷(美)さんが2回戦まで進出しました)

代表であいさつする馬淵くん



輝かしい成果を報告
3月23日 コンクール及び大会成績報告会

今年度大会やコンクールで優秀な成績を収めた児童・生徒の成績報告会が、プラザ萬象で行われました。今年の対象学生は343人。下野教育長が「しっかりと目標をもち、素晴らしい力をこれからも伸ばして欲しい」と激励すると、代表の馬淵陵くんは「多くの方が支えてくださっていることに感謝の気持ちを持ち、これからも多くの大会で活躍できるよう、日々努力していきたい」と答えました。

学校長から卒業証書を受け取る卒業生



喜びと涙の旅立ち
3月5日 市立看護専門学校卒業式

市立看護専門学校の卒業式が行われ、3年間の学校生活を終えた33人(男性7人、女性26人)が学び舎を巣立ちました。式では、1人ひとりに卒業証書が手渡された後、市田和子学校長が「自分に何ができ、何が足りないのかを謙虚に振り返りながら、誇りを持ってがんばってほしい」と激励の言葉を送りました。また、卒業生答辞では、代表の松浦泰子さんが「この学校で培った人間力、忍耐力、看護力を持ち、自分を信じて、自らの道を切り開いていきます」と決意を述べました。

謝辞を述べる田中監督



努力の賜物です
3月1日 敦賀市スポーツ優秀選手、敦賀市体育協会体育功労者・優秀選手等表彰式

平成22年度の敦賀市スポーツ優秀選手、敦賀市体育協会体育功労者・優秀選手等の表彰式がプラザ萬象で行われ、99人・55団体が表彰を受けました。式では、受賞者に表彰状が手渡された後、受賞者を代表してオール敦賀ソフトボールクラブの田中宏文監督が、「この結果に甘んじることなく、これからも日々精進していきたい」と謝辞を述べました。